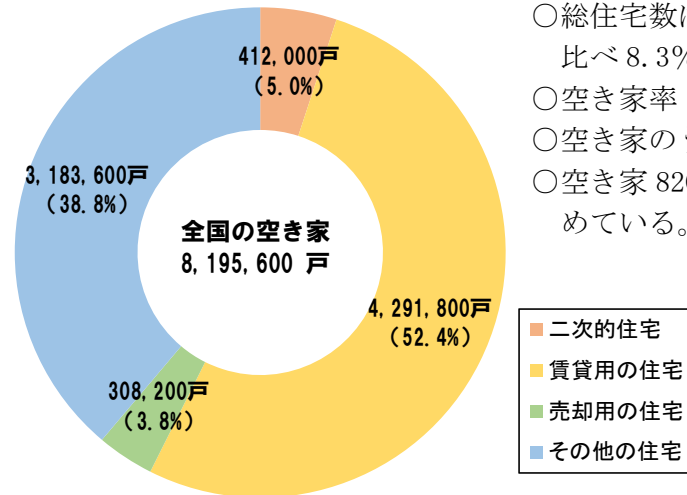


## Data Collabo

～空き家～

平成 25 年「住宅・土地統計調査」集計データに基づき、空き家の状況について概観する。

### 空き家の状況



### 都道府県別の空き家率

- 空き家率について都道府県別にみると、別荘等の二次的住宅が多い山梨県・長野県がそれぞれ 22.0%、19.8%と上位にある。
- 一般に“空き家”と言った場合にイメージされるのは空き家4タイプ中の“その他の住宅”であろう。
- この“その他の住宅”のみの空き家率では、鹿児島県が 11.0%でトップ、次いで高知県 10.6%、和歌山県 10.1%など、西高東低の傾向が見取れる。
- 逆に、“その他の住宅”のみの空き家率が低いのは、東京都 2.1%、神奈川県 3.1%、埼玉県 3.4%、愛知県 3.9%、沖縄県 3.9%など、人口増加エリアが並ぶ。

### 都道府県別の空き家密度

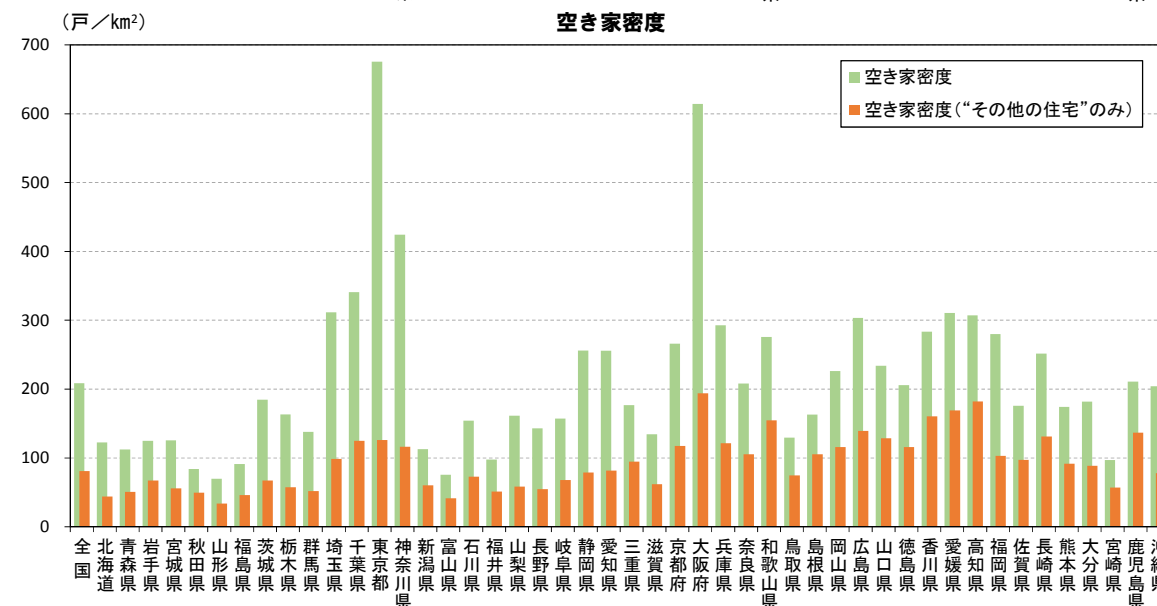
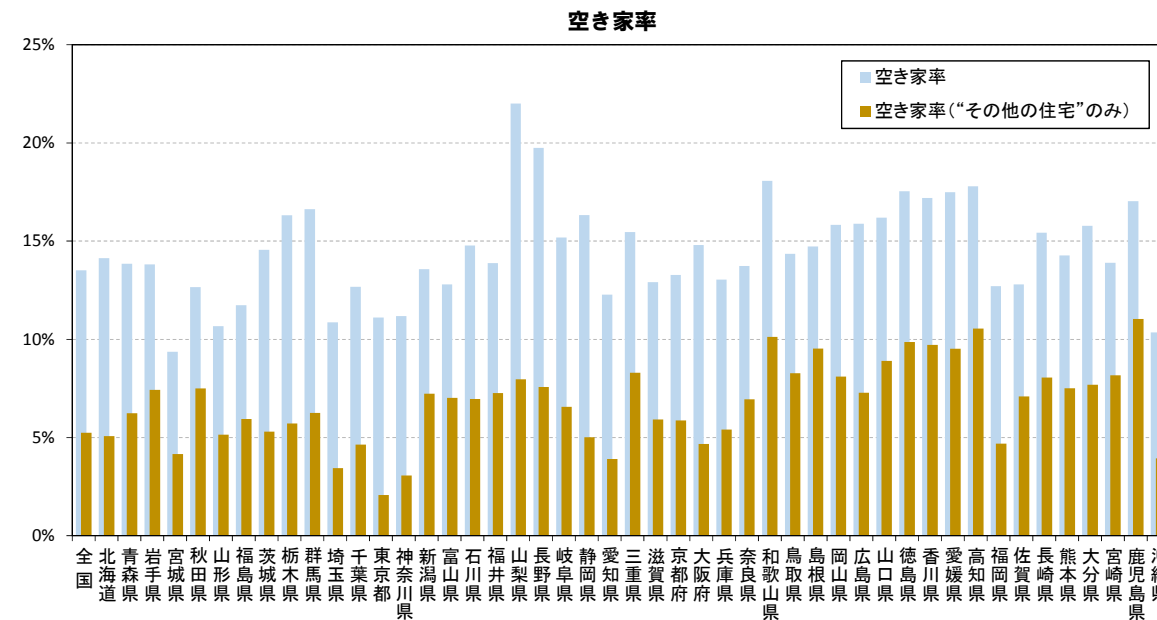
- 空き家問題をスラム化や危険家屋の要因として捉えるなら、問題となるのは空き家密度である。
- 空き家密度 (km<sup>2</sup>あたり戸数) が高いのは東京都 676 戸、大阪府 614 戸などの大都市部であるが、こうしたエリアでは賃貸用や売却用のいわば管理された空き家が多い。
- “その他の住宅”のみの空き家密度では、大阪府 194 戸、高知県、愛媛県、香川県が上位に並ぶとともに、空き家率同様に、西高東低の傾向が明らかである。

○「住宅・土地統計調査」における空き家は、次の4タイプに類別される。

- ・二次的住宅（別荘など）
- ・賃貸用の住宅（新築・中古を問わず、賃貸のために空き家になっている住宅）
- ・売却用の住宅（新築・中古を問わず、売却のために空き家になっている住宅）
- ・その他の住宅（上記以外の方が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など）

### 空き家数 820 万戸、二次的住宅を除く空き家率は 12.8%

- 総住宅数は 6,063 万戸で 5 年前に比べ 5.3%増加であるのに対し、空き家数は 820 万戸で 5 年前に比べ 8.3%の増加となっている。
- 空き家率（総住宅数に占める割合）は 13.5%で 0.4 ポイント上昇（過去最高）している。
- 空き家のうち、別荘等の二次的住宅（41 万戸）を除く空き家率は 12.8%となっている。
- 空き家 820 万戸のうち、最も多いのは賃貸用の住宅 429 万戸で、空き家全体の 52.4%と過半数を占めている。



※空き家密度は評価総地積（住宅）あたりの空き家戸数

都道府県	市町村	住宅総数 (戸)	空き家総数 (戸)	空き家率		人口変化率 1995⇒2015
				二次的住宅を除く	その他の住宅のみ	
長野県	軽井沢町	27,570	17,890	64.9%	5.8%	3.3%
静岡県	熱海市	38,040	19,290	50.7%	23.9%	9.9%
栃木県	那須町	16,880	8,520	50.5%	6.9%	5.2%
山梨県	北杜市	31,620	13,290	42.0%	10.9%	8.6%
和歌山県	白浜町	15,590	6,270	40.2%	23.2%	11.3%
長野県	茅野市	34,720	13,750	39.6%	9.8%	5.3%
静岡県	伊東市	48,940	18,290	37.4%	13.1%	6.3%
山口県	周防大島町	13,120	4,840	36.9%	34.9%	33.5%
千葉県	勝浦市	13,730	5,050	36.8%	19.4%	9.0%
神奈川県	湯河原町	16,800	5,610	33.4%	20.9%	7.6%
静岡県	伊豆市	18,120	5,890	32.5%	13.0%	7.2%
北海道	夕張市	6,730	2,030	30.2%	30.2%	9.4%
香川県	小豆島町	9,100	2,710	29.8%	26.7%	25.8%
静岡県	下田市	14,660	4,350	29.7%	24.2%	14.0%
北海道	三笠市	6,490	1,920	29.6%	29.6%	19.3%

都道府県	市町村	住宅総数 (戸)	空き家総数 (戸)	空き家率		人口変化率 1995⇒2015
				二次的住宅を除く	その他の住宅のみ	
山口県	周防大島町	13,120	4,840	36.9%	34.9%	33.5%
北海道	夕張市	6,730	2,030	30.2%	30.2%	9.4%
北海道	三笠市	6,490	1,920	29.6%	29.6%	19.3%
北海道	赤平市	7,080	2,040	28.8%	28.7%	8.3%
鹿児島県	肝付町	9,360	2,530	27.0%	27.0%	26.6%
大分県	国東市	16,880	4,650	27.5%	27.0%	15.6%
香川県	小豆島町	9,100	2,710	29.8%	26.7%	25.8%
高知県	土佐清水市	9,570	2,660	27.8%	26.5%	22.4%
鹿児島県	伊佐市	14,800	3,930	26.6%	26.2%	21.1%
岡山県	高梁市	17,680	4,650	26.3%	26.2%	15.6%
三重県	熊野市	12,000	3,310	27.6%	25.8%	22.2%
奈良県	大和高田市	34,500	8,860	25.7%	25.4%	8.3%
北海道	歌志内市	2,660	690	25.9%	25.2%	12.0%
高知県	室戸市	8,980	2,320	25.8%	25.2%	21.8%
香川県	土庄町	8,680	2,270	26.2%	24.9%	21.3%

都道府県	市町村	住宅総数 (戸)	空き家総数 (戸)	空き家率		人口変化率 1995⇒2015
				二次的住宅を除く	その他の住宅のみ	
山口県	周防大島町	13,120	4,840	36.9%	34.9%	33.5%
鹿児島県	肝付町	9,360	2,530	27.0%	27.0%	26.6%
香川県	小豆島町	9,100	2,710	29.8%	26.7%	25.8%
鹿児島県	南さつま市	20,250	5,230	25.8%	24.6%	22.7%
高知県	土佐清水市	9,570	2,660	27.8%	26.5%	22.4%
三重県	熊野市	12,000	3,310	27.6%	25.8%	22.2%
高知県	室戸市	8,980	2,320	25.8%	25.2%	21.8%
兵庫県	佐用町	8,160	2,080	25.5%	24.8%	21.4%
香川県	土庄町	8,680	2,270	26.2%	24.9%	21.3%
三重県	尾鷲市	11,590	2,880	24.8%	23.8%	21.2%
鹿児島県	伊佐市	14,800	3,930	26.6%	26.2%	21.1%
和歌山県	串本町	11,270	3,000	26.6%	22.4%	20.2%
長崎県	新上五島町	12,360	3,180	25.7%	24.8%	20.1%
徳島県	美馬市	15,600	3,810	24.4%	23.5%	19.7%
北海道	三笠市	6,490	1,920	29.6%	29.6%	19.3%

※項目別空き家率の上位 15 位までを掲載。

※人口変化率は国勢調査に基づく過去 20 年間の人口増減率。

## Visit.Collabo

～ハウステンボス～

人口減少対策が急務となっている今日、定住人口増加に向けた取り組みと同時に、観光客や短期滞在者などの「交流人口」を増やすことで地域経済を活性化させる動きに注目が集まっている。

### 遊園地・テーマパークの売上が上昇

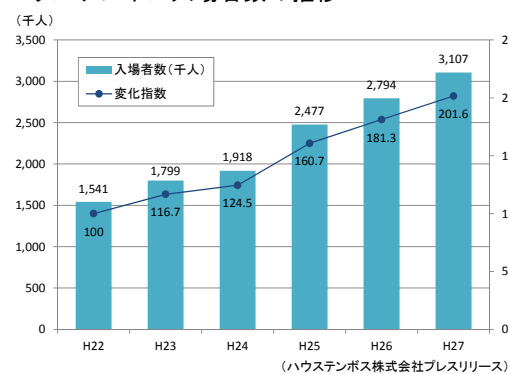
「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成26年度の遊園地・テーマパークの売上高は過去最高の6,061億4,300万円となり好調だ。国内最大手「東京ディズニーリゾート」の売上は全体の約7割を占め、近年は増加傾向で推移しており、平成26年の新エリアオープン後好調なユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、平成27年度の来場者数が1,320万人で過去最高となったことを発表している。

しかし、遊園地・テーマパークの事業所数については、平成22年の“84か所”から平成26年には“77か所”と5年間で約10%減少しており、業界2強といえる大型施設の人気に対し、中・小規模施設の苦戦がうかがえる。そんな中、近年入場者数・売上高ともに急増し注目を集めているのがハウステンボス（長崎県佐世保市）である。

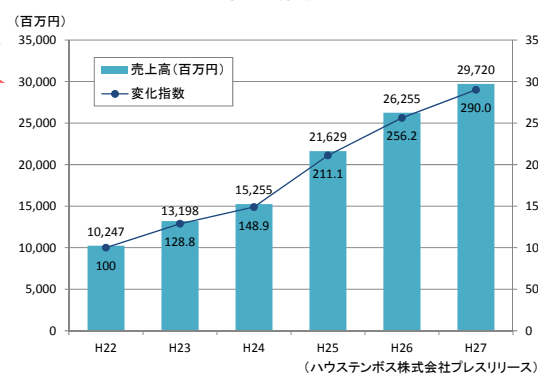
### ハウステンボスでは6年間で入場者数が約2倍、売上高は約3倍

ハウステンボスは、平成22年に株式会社エイチ・アイ・エスの子会社となり再建開始後、平成27年までの6年間で入場者数は2倍、売上高は約3倍と急成長を遂げている。ハウステンボスを要する佐世保市観光客数の推移をみても、平成22年～平成26年の5年間で約170万人増加し、日帰り・宿泊客数ともに長崎市を抜き、現在は県内1位となっている。

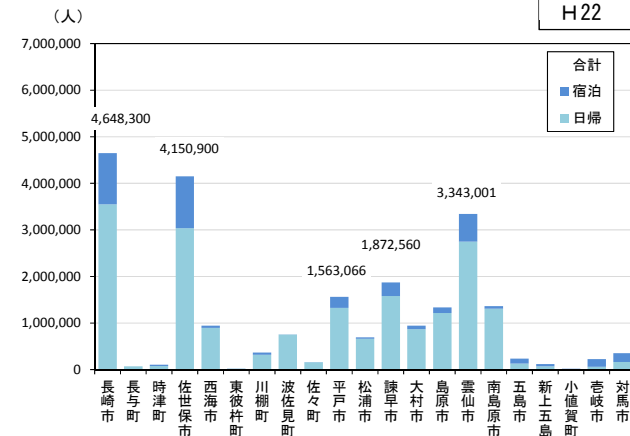
#### ■ハウステンボス入場者数の推移



#### ■ハウステンボス売上高の推移



#### ■長崎県市町村別観光客数



※長崎県観光データより編集作成(平成22年データ)



※長崎県観光データより編集作成(平成26年データ)

### ハウステンボス Report

4月上旬、チューリップが咲き誇り春満開のハウステンボスを訪れた。いま、人気を集めるハウステンボスの様子をレポートする。

### 目指すのは「東洋一の美しい観光ビジネス都市」！オランダの街並みの完成度がすごい！

まず、日本にいながらしてヨーロッパ旅行の気分を味わう事ができる完成度の高い風景に驚いた。忠実なオランダの街並みの再現具合にはオランダ人も驚くという話も納得できる。近年の海外旅行は、ハウステンボスオープン当時に比べさらに身近になってはいるものの、海外旅行者数の推移をみると、2012年をピークに減少傾向となっている。特にヨーロッパ旅行は、しばらく治安・安全面から不安視する人も多いと思われることから、「日本のヨーロッパ」の需要は今後も増していくのではないかと。

#### Collabo クイズ

下の2つの写真のうち、本物のオランダはどちらでしょう？  
※答えは左下をご覧ください。



海外旅行者数	人数
2009年	15,445,684人
2010年	16,637,224人
2011年	16,994,200人
2012年	18,490,657人
2013年	17,472,748人
2014年	16,903,388人
2015年	16,212,100人

※(最高)2012年 18,490,657人  
※2015年については、速報値である。

### 園内はナンバーワン、オンリーワンが盛りだくさん！

ハウステンボス再建の立役者(株)エイチ・アイ・エス澤田秀雄社長のインタビューを読むと、園内の企画についてはナンバーワン、オンリーワン戦略を掲げている。4月の中旬に訪れた際には、イベント「チューリップ祭と光の王国」が開催されており、『日本最多！700品種に出会える花畑』や『世界最大！1300万球を使ったイルミネーション』がキャッチフレーズとなっていた。園内にはこの他にも「世界一、世界初、国内最多」等の言葉が溢れ、やや言葉負けする印象のものもあったが、観光客の注目を集めるための工夫がなされていた。

右: イベント「光の王国」のメインスポットの一つ「光の滝」。ハウステンボスは全国イルミネーションランキングで3年連続1位を獲得している。  
左: 世界初！有機ELパネルで輝く最先端の光のチューリップ。



クイズ collabo 答え  
B: オランダデルフトの街並み